



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 鬼の目にも涙

### 高齢者歯科 科長 佐藤 裕二

学生教育にご協力いただきありがとうございます。私どもも、将来の歯科医療を担う人材育成のため、一生懸命教育しております。診療内容以外の教育に関してご紹介いたします。

#### 1. 診療時間内はエレベーターを使わない。

患者さんの待ち時間を短くするという理由だけではなく、学生の体力増強のためです。体調不良、重い荷物運搬時、患者さんに同行する際は許可されています。学生らしき者がエレベーターを使っても、そのような事情があることをご理解下さい。若ぶりの歯科医師かも知れません。

私は健康のためにも、6階の講義室へも階段を使い、エレベーターは使いません。学生は地下2階から6階へ移動することもあり、酷だと感じる時もあります。私を見かけると、エレベーターの前で待っていた学生が、気まずそうに階段に向かうことも時々あります。恐れられているのですが、患者さんへの深い配慮ができるようになって欲しいと願い、憎まれ役を務めています。

#### 2. 診療室の収納庫の扉をきちんと締める。

急ぐときは引き戸がキチンと締まらなかったり、反動でまた少し開きます。最後までキチンと締める所作が美しいです。最近の家庭には襖や障子がありません。引き戸を最後まで綺麗に締める習慣が無いのかも知れません。診療室で見かけると、「最後まできちんと締める！」と叱っていたのですが、最近の若者用に「キチンと最後まで締めると美しいよ」とやんわりと注意するように変えました。時々、間違えて教職員にまで注意してしまうこともあります。疎まれるとは思いながらも、美しい所作の学生を育てるために、嫌われ役になっています。

#### 3. 就職支援

歯科医師も就職時には面接や試験があります。私はその就職支援を担当しています。挨拶の仕方、メールの書き方、面接の受け方、敬語の使い方などを厳しく指導しています。



学生をさんざん叱ってきました。そのおかげだと信じていたのですが、「昭和大学の学生はいいね！」といただけています。実は教職員全体の努力の成果だと思うのですが、ただし、臨床実習中の学生はまだ教育途中です。皆様に失礼な態度や変な敬語で接することもあろうかと思いません。しかし、暖かい目で見守っていただけるとうれしいです。

私事ですが、卒業式の謝恩会では、何度も「お世話になった先生第一位」で表彰されてきています。ある年の謝恩会の最後の最後に「極悪先生第一位」として表彰されました。学生のユーモアでしょうが、印象に残る教員であったことをとても感激しました(本当は「かっこいい先生第一位」を狙っていたのですが、、、)。叱ってきた学生たちから、このように感謝されると、「鬼の目にも涙」です。「怒る」のではなく、「叱る」ことを心がけてきたことを理解してくれたのだと感激です。

このような舞台裏があることをご理解いただき、今後とも学生教育へのご支援・ご協力をどうかよろしく願いいたします。

## 高齢者歯科 紹介

我が国の総人口数は約1億2700万人で、高齢者人口は約3300万人、全人口に占める高齢者(65歳以上)の割合も約26パーセントに達しました(内閣府データより)。私ども高齢者歯科では、年齢が70歳以上の患者さんと65歳以上で基礎疾患があり、お体の状態を観察しながら治療を行わなければならない患者さんや、医科の先生との連携が必要な患者さんの診療を行っています。いわゆるご高齢の患者さんの一般歯科診療を行うところだとご理解いただいてもよいと思います。

平成24年度の当科の初診患者数は約1400人、25年度は1600人と、高齢者に対する歯科治療のニーズは確実に高まってきております。近隣の先生方からの紹介も増え、ご紹介いただいた先生への報告もマニュアル化しましたが、まだまだ至らない点が多々ありこの紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

主任教授の佐藤裕二以下30名の医局員で診療にあたっておりますが、高齢の患者さんは、若年者と比較してお口の中に色々な問題点をもっている場合が多いため、様々な専門分野に対応できるよう、日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会の指導医・専門医を中心としたチーム診療体制を構築し、患者さんには充実した高度先進医療を、学生一臨床研修医一若手ドクターには一般診療から専門分野までのきめ細かな指導を提供できるよう努めております。

診療内容としては、一般外来診療に加えて、昭和大学口蓋裂診療班(SCPT)や顎変形症・口蓋裂のチームアプローチ(MFC)、障がい者歯科における専門的補綴処置、インプラント治療、医学部関連病院における口腔ケアセンターなども担当しています。大田区と世田谷区の高齢者施設において歯科訪問診療活動を行っており、両施設ともに、歯科衛生士と口腔リハビリテーション科、麻酔科のご協力を得てチーム診療を行っています。昭

和大学の特色であるチーム診療を生かして、摂食・嚥下機能障害に対しては、通院による機能検査の実施と、往診参加による専門性を高めた診療提供が可能になっております。外科処置や診療協力困難者に対する治療などには麻酔科医の管理の下で静脈内沈静法を用いた安全な処置を提供しております。また、老年歯科学会において推奨されている口腔アセスメント表に口腔衛生学教室で使用している摂食・嚥下機能アセスメント表を組み合わせ、高齢者歯科独自の精度の高いアセスメントを採得し、入居者の生活の質を向上する一助となるべく活動を続けております。

超高齢社会を迎えた日本において、健やかに日々をお過ごしいただけるよう微力ながらお手伝いをいたしたく、医局員一同、日々診療に取り組んでおります。

高齢者歯科 助教 内田 圭一郎



往診での診療



入院患者さんの口腔ケア



高齢者歯科スタッフ

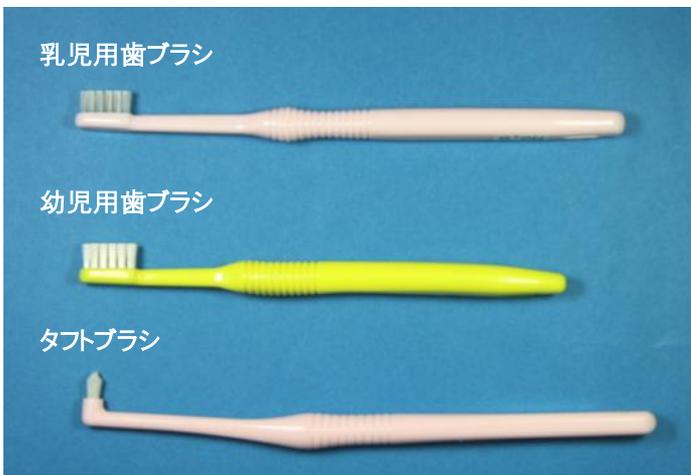
歯ブラシは最も一般的な口腔清掃用具で、歯の清掃ばかりでなく、舌の清掃や歯肉のマッサージなどにも用いられています。歯ブラシの各部分は、ヘッド(植毛部)、ネック(頸部)、ハンドル(把持部)と呼ばれていて、様々な形状のものが開発されています。とくにヘッドの部分は、全体の形状から植毛の状態、毛先の長さや毛先の加工など多様であり、それぞれ効率よく歯垢(プラーク)が除去できるように工夫がなされています。

歯ブラシは、歯の大きさや歯並びなどをふくめて、自分に合ったものを選ぶことが重要です。とくに子どもでは、年齢とともに口の大きさが変化し、また歯も乳歯から永久歯へと生え換わります。歯や口の変化に応じて歯ブラシのサイズを変えていくことが望ましく、また保護者がみがく場合と子ども本人がみがく場合とでも、推奨される歯ブラシのヘッドの大きさやネックの長さ、ハンドルの太さ、ブラシの毛先の長さ・硬さなどが多少違ってきます。

ハンドルがやや太めの歯ブラシがいいと思います。握る力が弱く、手指のコントロールも未熟な幼児には、把持しやすくアプローチが短い歯ブラシが適しています。乳歯の時期には、保護者の仕上げみがき用の歯ブラシは乳児用でも問題なく、子ども自身ではみがきにくい下の奥歯の舌側や上の奥歯の頬側などは小さめの歯ブラシの方が操作しやすいというメリットがあります。

永久歯に生え換わってくると、歯並びなどの個体差も大きくなり、みがきにくい部位も増えてきます。生えかけで歯肉がかぶっている奥歯や、歯と歯が重なっている部位は、通常の形の歯ブラシではうまくみがけません。毛先が細くなったタフトブラシなどを用いるといいでしょう。みがきやすい歯ブラシを選ぶことも大切ですが、うまくみがけているかどうかは分かりにくいので、歯科医院で歯並びや歯の状態に合ったものを選んでもらい、みがき方も指導してもらうことをお勧めします。歯垢を赤く染め出してみると、みがき残しがはっきり見えるので、歯ブラシをどのように動かせば歯垢を落とせるかが分かります。

歯みがきの習慣は、赤ちゃんの頃から身に付けてほしいものですが、一方小さいお子さんでは歯ブラシによる事故にも注意が必要です。1～2歳の幼児では、歯みがき中に立ち歩くなどして転倒し、口の中をけがする事故が起こっているようです。3歳以下のお子さんには、座らせてみがかせる、歯みがきの時以外は歯ブラシを持たせない、本人みがきの時は目を離さない、などの対応が必要でしょう。



小児の歯ブラシ

乳歯の前歯が生えてくる乳児期の保護者みがき用には、ヘッドが小さく、ネックとハンドルがやや長めで、毛先が短く軟らかめの乳児用歯ブラシが適しています。乳歯の奥歯が生えてきたら、奥歯の溝の部分までみがけるように少し毛先がしっかりしたものに変えてもいいでしょう。幼児期の本人みがき用としては、乳児用よりはヘッドが大きめで、ネックが短く、



日本小児歯科学会リーフレットより

## 平成26年度 防災訓練報告

当院にて防災訓練を実施しました。

平成26年11月14日(金)午後4時00分、大規模地震が発生したという想定のもと、防災訓練が行われました。当日は、歯科病院防災対策マニュアルに則って、災害対策本部設置、被害状況報告(第1・2報)の報告訓練、初期消火に重要な消火器および屋内消火栓の使用方法説明会を実施しました。

災害発生時に教職員が混乱することなく組織だって最適な行動がとれるよう日頃から意識し行動ができるよう今後も訓練実施にご協力をお願い致します。

事務課管理係 関口 亮司



災害対策本部設置



被害状況の報告



災害初療部門による応急処置



消火器・屋内消火栓の使用方法説明

## 患者さん対象 インプラント治療に関する説明会のお知らせ

インプラント治療について、わかりやすく御説明いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

第33回

日時:平成26年12月16日(火)  
12時00分～1時30分

第34回

日時:平成27年1月26日(月)  
12時00分～1時30分

会場:昭和大学歯科病院 6階 第2臨床講堂

参加費:無料 当日直接会場へお越し下さい。

(事前申し込み不要)

演者:昭和大学歯科病院 インプラントセンター  
センター長 尾関 雅彦 教授

事務課

※当日は病院だよりへの掲載、インターネット上での公開のため、イベントの写真撮影、ビデオ撮影を行います。

掲載・公開を希望されない方は、イベント当日に直接スタッフにご相談ください。

ただし、病院だよりへの掲載の場合には掲載後の対応はできませんのでご了承ください。

お問い合わせ:昭和大学歯科病院事務課管理係



## 編集後記

昭和の大スター高倉 健さんを偲ぶ番組が溢れています。

覚悟の口元、怒りの口元、喜びの口元、悲しみの口元、我慢の口元、激励の口元  
健さんの口元はどれも本当に素敵でした。素敵な口元のためには健康な歯と歯並びが欠かせません。

ご相談されたい方は是非担当医にお聞き下さい。高倉 健さん感動をたくさんありがとうございました。(K.T)



群馬県沼田市にて